

KKRキャリアラダー

ラダー		ラダー		ラダー		ラダー	
新人(おおよそ1~2年)		一人前(おおよそ3年~)		中堅(おおよそ6年~)		達人	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人・組織人としての自覚を持ち行動できる 2. 専門職業人として生命倫理と人間の尊厳について考えられる 3. 病院の理念・看護部の理念・方針を理解し自己の看護観を言語化できる 4. 部署での自己の位置づけを知り役割を果たす 5. 指導を受けながら安全、確実に看護実践できる 6. 医療経済の動きや病院の経営に関心を持ち、病院の発展に貢献できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職業人として生命倫理と人間の尊厳に基づいて行動できる 2. 病院の理念、看護部理念・方針に沿って、自己の看護観を言語化できる 3. 新人指導ができる 4. 自律して看護実践できる 5. 医療経済の動きに関心を持ち、病院の経営方針に協力する 6. 医療経済の動きや病院の経営に関心を持ち、ビジョン/経営方針を言語化できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自らが倫理的感性を磨き、必要な関係者と連携し行動できる 2. 先輩(看護師・学生)指導ができる 3. 役割モデルとして看護実践できる 4. 看護部の方針に基づいた部署運営に関する企画に自己の役割を踏まえて主体的に参加できる 5. 医療経済の動きに関心を持ち、病院の経営方針に協力する 6. 医療経済の動きや病院の経営に関心を持ち、病院の経営方針に協力する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の生命や人権を尊重できる看護部を育成できる 2. 看護の質を向上させるための変革的な行動がとれる 3. 部署における教育的な関わりができる 4. 創造的な看護実践ができる 5. 看護部門の方針に基づいた部署目標達成のために活動を推進できる 6. 医療経済を理解し、積極的に職場、病院の改革に参画する 			
能力考課	看護過程	<ol style="list-style-type: none"> 1) 基本フォームを活用して情報収集することができる 2) 全体像の理解を深め看護の方向性を示すことができる 3) 看護基準を活用して計画を立案できる 4) 患者と共有した目標を設定し具体策を挙げることができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 患者の全体像が捉えられるような情報収集ができる 2) 自立して患者のニーズを見極め看護の方向性を導くことができる 3) 患者と目標を共有し優先度を考えた具体策を提示できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 家族や社会問題について意図的情報収集できる 2) 経験と科学的データを基に潜在している問題を予測し援助できる 3) 個別性(患者の価値観・家族関係・社会的役割)を重視した柔軟な対応ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 状況の全体を瞬時に直観的に捉え実践できる 1) あらゆる側面から対象を捉えた上での行為を導くことができる 2) 直観的に行為を選択する 3) 偶発的な出来事に対して速やかに対応しつつ、発生する問題に対して行動できる 		
	知識技術	<ol style="list-style-type: none"> 1) 院内基準に沿って安全な援助ができる 1) 基準手順に基づいた技術が提供できる 2) 安全・安楽を考えて実行できる 3) 当該科の主要疾患について治療・処置・看護ができる 4) 正常がわかり、異常時の報告ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 科の特殊性や業務内容を理解して実践できる 1) 科学的根拠を持ち、予測した看護ができる 2) 患者のニーズに沿い、技術を安全・安楽に実践できる 3) 急変時に必要な治療・処置を理解し、看護ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 患者の生活の質的側面と科学的データを統合させ医療看護を考えられる 1) 経験した知識・技術を吸収し、再構築できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 卓越した能力を活用し、看護の質の向上に生かすことができる 1) 看護の領域にとらわれず幅広い知識を動員して状況を総合的に判断できる 2) 知識を総合的に用い、更に新しい知識として発展させることができる 		
	コミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> 1) 患者・家族とコミュニケーションがとれる 	患者・家族の反応を見ながら意図的にコミュニケーションがとれる	患者・家族に指導、教育的な関わりをもてる 患者・家族が問題解決できるような支援的関わりができる	患者・家族に指導、教育的な関わりをもてる 患者・家族が問題解決できるような支援的関わりができる		
	人間関係	判断に困る時、先輩・上司に相談できる 悩みや困っていることを上司や先輩・同僚に報告できる	新人とのコミュニケーションが図れ先輩看護師として相談にのることができる	自己の考え・判断に基づき、解決の手立てを加えながらディスカッションできる メンバーと信頼関係を保ち協働意欲を高められる スタッフ・チームメンバーとの調整役がとれ、職場を活性化させる	部署全体の雰囲気作りにおいて中心的な役割を果たせる 他職種を有効に活用してコーディネートできる 場を適切に判断し、必要に応じて介入する コーチングスキルを活用した支援ができる 周囲の人達と成熟した人間関係がとれる		
	自己認知	<ol style="list-style-type: none"> 1) 自己の傾向を認知する 1) 他者のアドバイスを受け入れることができる 2) 自己のできていることを認めることができる 	他者との関わりにおける自己の課題を明確にできる 自己の傾向を認知し、発展的な解決策を見出すことができる	自己洞察ができる 洞察に加え柔軟な対応ができる	洞察に加え柔軟な対応ができる		
リーダーシップ・管理	<ol style="list-style-type: none"> 1) 優先度を考えながらメンバーの役割ができる 報告・連絡・相談ができる 	急変時の対応ができ必要に応じて指示/命令ができる 自己の考え・判断を加えながら報告・相談できる 相手に要領よく正確に報告・連絡・相談できる 新人の指導ができる	部署の問題を抽出し積極的に問題解決に向けて提案、改善できる 報告・連絡・相談されたことに対して適切に助言できる スタッフの個性や自立性を尊重し、支援できる	客観的な視点で部署を診断し活用化できる 関連各部署との連携を強化し、協働、変革できる 他者の行動変容に影響できる			
安全管理	指導を受けながら行動できる (医療安全・感染管理・災害看護)	マニュアルに沿って状況に応じて対応できる	防止対策について問題提起し検討することができる	部門を超えて安全対策に積極的に取り組むことができる			
能力考課	自己研鑽	自己のできていないことを課題として捉えることができる 自らの感性を向上させるために努力できる	自己の目標を明確にし、具体的な対策を立て、実践できる 部署での役割を通して、部署目標達成に参加し、達成のために努力している	役割を通して教育的な視点を養うことができる 必要な知識・社会性に対して学習の場を自ら求めることができる	教育に関するコンサルテーションができる 看護部全体の教育活動を支援し、推進する		
	院内外の関係	院内外の研修に参加し、伝達できる	参加した研修での学びを伝達し実践できる	院内・外の有効な研修結果を臨床の実践に積極的に活用できる	研修での学びを普及できるように教育プログラムを立案・実施・評価できる		
	表現力	自分の考え、思いを言葉で表現できる 自己のできている所を認め、表現できる 日々の看護の中で自分が大切にしていることが言える	自分の考え思いを他者が理解できるよう表現できる 看護実践を通して自己の看護観を言語化できる カンファレンスなどの場で、自己の看護観に基づいた援助について発言できる	根拠に基づいて論理的に説明できる 自分の考えを他者に伝えるための最良の方法を選択できる	対象の能力に合わせたプレゼンテーションができる		
	研究	看護研究 日々の実践から問題意識を持つ 部署の研究に関心を持ち、院内研究発表に参加する	業務に対して常に探究心を持つことができる(先行研究を読む) 院内・院外の研究成果に関心を持てる	看護研究を計画し、スタッフと共に取り組むことができる 院内・外の有効な研修結果を臨床の実践に積極的に応用することができる	看護研究活動を推進し、助言できる		
業績考課	仕事の量	割り当てられた仕事を時間内に終える	他のメンバーの仕事量を配慮し、全体状況を見ながらサポートできる	メンバーの仕事が達成できるように調整できる 部署外の活動においても一定の効果を出すことができる	決められた仕事の量ができるように改善を行い、成果を上げることができる		
	仕事の正確性	基準・手順どおりに仕事を行うことができる	基準・手順どおりに仕事を行ない、問題と感じたときは提言できる	基準の見直しを行い、積極的に改善案を提言できる 安全の視点を持ち、インシデント・アクシデントレポートの分析ができる	基準に基づいた仕事ができているか確認し、指導ができる		
	仕事の迅速性	仕事の優先度を考え、業務計画が立てられる	能率的に決められた時間で仕事ができる	仕事が速く、他のメンバーの仕事がサポートできる	仕事が能率的に行えるようコツを伝えることができる		
	仕事の改善	効果的に業務を行なうための問題意識を持つことができる	効果的に業務を行なうための提案ができる	効果的な業務を行なうために創意工夫ができる	他部門・他施設との調整を行い、業務の改善を推進する		
	医療材料	医療材料の値段を知る	医療材料の効果的な使用を考える	医療材料の適切な選択ができる	病院経営の観点をもち、スタッフに指導できる		
ランニングコスト削減	ランニングコストがどのようところで発生しているか知る	適切な器具の取り扱いができる 無駄なランニングコストを削減できる	ランニングコスト削減を指導できる				
看護行為	看護行為とコストを結び付けて考えることができる	看護行為のコスト化を認識しながら実践する	自院の水準の向上に繋がるような、C/P標準看護計画の作成ができる コストに見合った看護行為ができるよう指導する				
執務態度考課	倫理観	看護者の倫理綱領を行動の規範とする 日々の看護実践から看護とは何かを考えられる 看護者の倫理綱領について知っている 患者の尊厳を考えながら実践できる	看護者の倫理綱領を行動の規範とする 看護の本質の意味を考えられる 病院の理念・方針を理解し、自己の看護のと結びつけて行動できる 医療看護の倫理と現実の中で経験したジレンマに対して、対処に努めることができる	看護者の倫理綱領を行動の規範とする 医療看護の倫理と現実の間のジレンマを客観的に考察し、対処に努めるとともに、後輩に対して助言できる	看護者の倫理綱領を行動の規範とする 患者・家族が遭遇する生命倫理と現実のジレンマを察知し、助けることができ、医療チームの調整ができる		
	積極性	担当する仕事の知識を得ようとする意欲がある 解らないことは進んで助言を求めることができる	障害や困難に直面しても粘り強く取り組む 新しい仕事にも積極的に取り組むことができる	仕事の量的、質的拡大に対して挑戦できる	旺盛な意欲と熱意で業務に取り組む新しい考えや改善策を出すことができる		
	責任感	指示された仕事を限られた期限までに行うことができる 仕事は確認して誤りのないようできる	与えられた仕事を他人に依存することなく、最後までやり遂げる 失敗を責任転嫁することなく遂行できる	仕事の失敗の原因を追究し、改善案・代替案を検討できる	仕事を全うできるような職場風土を築ける		
	規律性	組織の服務規則の重要性を理解し実践できる 病院の理念・方針を理解できる	服務規則、接遇に対してセルフコントロールできる	模範となるような行動が取れる	模範となるような行動が取れる		
	協調性	誰とも協力して仕事を進めることができる	他人の意見も受け入れて強力できる	相互で納得できるような結論を導きだせる	チームワーク全体とグループダイナミクスを活用できる		
	マナー	基本的な挨拶ができる 身だしなみがきちんとしていて清潔感がある	TPOを考慮した適切な言葉使いができ、他者からも好感を持たれて	TPOを考慮した適切な言葉使いができ、他者からも好感を持たれている 専門職として模範となれる	TPOを考慮した適切な言葉使いができ、他者からも好感を持たれている 専門職として模範となり、指導ができる		
	健康管理	自己の生活を健康的に整えることができる 心身の体調が不調な時に早めに上司に相談できる	自己の体調が不良な時に早期受診ができる	後輩が心身のコントロールができるよう配慮ができる	スタッフが心身共に健康な状態で仕事ができるよう調整できる		